

令和3年度 大阪府立野崎高等学校 第3回学校運営協議会議事録

学校運営協議会委員出席者

中畠 正人 大阪産業大学 入試センター次長  
長廻 暢一 大阪国際大学 入試・広報部参与  
笛田 直樹 大東市立四条中学校長  
尾崎 明幸 だいたう森づくりクラブ代表  
梅本 正直 北条憩いの家 所長  
土岐 浩二 本校PTA 会長

○学校運営計画について

令和3年度の学校評価について

- ・頭髪・授業遅刻指導において、生徒の評価が低くなっているが指導方法に変化があったのか。  
→指導方法に変更はないが、特定の学年において有意な数値の減少があるので注視していく。
- ・「授業のわかりやすさ」「人権教育」「いじめ」「差別」については、評価が高く維持できているのは、御校の特色であるが素晴らしいことと思う。
- ・「学校教育自己診断」全般を通じて、令和2年度との比較において、2年生のポイントが1・3年生と比べて下降している。消極的傾向がみられるのはなぜなのか。  
→令和2年度の2年生にポイントが突出ししており、特定の学年において有意な数値の減少があるので注視していく。
- ・授業アンケートの数値結果を見ると、数値がアップしています。先生方の努力のたまものと評価できます。

令和4年度の学校運営計画について

3 本年度の取組内容及び自己評価

1の(1)に関連して

- ・「観点別評価のあり方について」の具体的内容の検討をする必要があるのではないか。  
→現在、来年度の観点別評価について検討中であり、来年度から実施していく。

2の(1)に関連して

- ・「相談できる教員は担任以外にもいる」の肯定率は十分高いと思います。担任以外に相談できない生徒もいます。生徒の一番身近な存在の担任に相談しやすい環境づくりが大切だと思います。そのためには担任も含めて全教職員の教育相談のスキルを上げることが重要ではないか。また、生徒個人の悩みについても情報共有が必要ではないか。特に「いじめ」については。  
→来年度からSSWの配置日数が増加するとともに、生徒への相談体制をさらに充実していく。いじめとして疑わしきものがあれば、いじめ対策委員会を開催し情報共有を行いながら対応していく。
- ・約6.5%の割合で存在しているとみられる発達障害の生徒についても理解が必要と考える。

全般に関して

- ・国語（読解力・文章力）の強化・コンピュータ等知識の強化・人間力を身につける。「生きる力」を育成・お金の大切さを伝える・職業意識の向上・努力する癖を身に付ける・人の痛み、他人の苦しみや悩みを理解する力・年寄りや小さい子どもに優しく接すること・平和を守ることの大切さ

以上のような内容をどこかに入れることもことは考えてみてもらいたい。

## ○各分掌について

### 進路指導部

- ・進路未定者 46 名生徒に対するバックアップが大切だと思います。外部委員としては、卒業した進路未定者の指導もお願いしたいと思います。

### 生徒指導部

- ・生徒一人ひとりに呼びかける指導を実施した。このことで、交通マナーが飛躍したことは評価できます。
- ・遅刻について、野崎高校にはいろいろな事情を抱えた生徒がいます。そのため、指導が難しいと思います。また、生徒とコミュニケーションを十分にとって指導していくことが必要です。野崎高校の先生方にきめ細かく指導されています。高く評価できます。
- ・定員割れの取り組みとして部活動の充実を進めていけばと思います。  
例えばスケートボード部やパルクール部、E スポーツ部など他の学校にはない独自の取り組みが必要だと思います。
- ・体育大会や文化祭など学校行事を生徒が率先して運営していると思います。特に体育大会では各団が練習や衣装の準備など自主的に行っている事は素晴らしい事だと思います。

### 人権教育

- ・野崎高校の人権教育は評価できます。SHIGO★西成さんを講師に招くなど創意工夫が見られます。生徒の感想を見ても、人権教育だけではなく、今後の進路や将来の生き方の参考になっています。「人間は大切」「人権は大切」「努力は大切」「人とかかわり方を知る事ができた」「元気が大切だと思った」などです。生徒に、大きな教育効果があったと思います。
- ・学校は野崎高校での三年間を生徒一人ひとりが卒業してからの人生の土台となるまたは、社会に適応できるような教育をしていると感じました。

## ○全体を通じて

- ・個人的な意見になりますが、私は三人の子供をそれぞれ違う高校に通わせました。その中でも野崎高校に通わせた次男が兄弟の中でも一番高校生活を楽しんでいたと感じています。また勉強やクラブ活動、友達作り等、本当に充実した学校生活を送ってくれ、親として野崎高校に通わせて本当に良かったと感じています。次男もよく「野崎高校でよかった」と言っております。野崎高校での三年間で将来は【高校の体育教師】になるという今後の目標も見つけました。これは学校や先生方の生徒をやる気にさせる雰囲気づくりや取り組みによるものだと思います。

今後も野崎高校の益々の発展と教職員の皆様と生徒たちの活躍を願っております。

本当にありがとうございました。

- ・ 集合型の会議ではないので、各委員のみなさまのご意見を聞くことができませんでしたし、笠井校長先生や各担当の先生方のお声でのご提案を聞くことができず大変残念でした。
  - ・ 今後ともよろしく願います。機能統合校としての更なる飛躍を祈念させていただきます。
  - ・ 野崎高校には、およそ7・8年前から高大連携授業で「模擬面接指導」をさせていただきました。また、本学にも多くの生徒を送っていただいています。人権教育を柱として取り組んでおられる常に生徒に寄り添った教育は生徒たちにとって素晴らしいものだと思います。
- 校長先生をはじめいろいろとお世話になった先生方に感謝を申しあげ、最後のご挨拶とさせていただきます。